

■ 出展企業紹介

出展企業名	有限会社市山レジャー開発		
年間売上高	令和6年度 5億円	従業員数 (社員〇名、パート〇名など)	令和6年度6月時点100名 社員・アルバイト含む
代表者氏名	代表取締役 市山栄作		
メッセージ	<p>私たちは飲食業からスタートし、今日まで皆様の笑顔が見たい、幸せになっていただきたい一心で歩んで参りました。昨今、世界経済は暗いニュースを目にする機会が増え様々な環境の変化に順応しなければならなくなってまいりました。そんな時代だからこそ、情熱をもって積極果敢に事業活動を継続・展開し地域経済に貢献していくことが、私たちの意義だと考えております。</p>		
ホームページ	https://ichiyama-leisure.co.jp/		
会社所在地	〒 812-0011	福岡県福岡市博多区博多駅前4丁目8番15号 博多鳳城ビル8階	
工場等所在地	〒 859-4536	長崎県松浦市調川町下免851-54	
担当者	吉永 直彦	E-mail	n.yoshinaga@ichiyama-leisure.co.jp
TEL	090-2504-2153	FAX	092-292-6941

■ 生産・製造工程アピールポイント ※農産品の場合は栽培面積・年間収穫量なども記載

製品:胡麻さば		製造工程管理表								
No.	加工工程	使用器具	作業方法	品質・危害	CCP	管理点	管理基準	モニタリング方法/頻度	逸脱時対応措置	記録
①	工場受入	保管庫前 プラットホーム	原料封地に受入、各温度帯野農産	品質上昇、品質劣化	PP	湿度	凍結が解んでいない	搬入ロット毎	凍結、開凍	原料受入日報
②	解凍	一次加工室	除菌海水、貯め水解凍	品質上昇、品質劣化	PP	湿度	氷温≤10℃	解凍タンク毎	氷の投入	工程管理記録
③	フィレ加工	フィレマシン 製丁、スكينナ	品温10℃程度で加工	品温の低下	PP	形状、異物	刃の欠けのないこと	洗浄時に確認	洗浄時の確認	当丁・インレマシンの点検記録
④	殺菌	衣類塩素酸水	15ppm pH=5.0~5.5	微生物、品温低下	PP	塩素濃度	15~30ppm	搬送ロット毎	調整	工程管理記録
④*	殺菌	衣類塩素酸Na ピン抜き機	0.0ppm 浸漬設置 ピン抜き機使用後、残り金ピンセット にて	微生物、品温低下	PP	塩素濃度	0.0ppm	搬送ロット毎	調整	工程管理記録
⑤	骨抜き	骨抜き機	作業テーブル	骨の逸脱	PP	湿度	1時間毎洗浄	-	-	-
⑥	スライス	スライサー	スライサーまたは包丁にてスライス	微生物、品温低下	PP	形状、異物	刃の欠けのないこと	洗浄時に確認	出荷止め、調査	包丁・フィレマシン点検記録
⑦	袋入れ・計量	カッパ、計量器	1パック毎計量	重量不足	PP	基準内	製造標準	-	-	-
⑧	たれ入れ	充填機/分注器	仕様書どおりに入れる	重量不足	PP	基準内	製造標準	-	-	-
⑨	真空包装	真空包装機	包装機にて真空シール	真空もれ	PP	シーラ破損、ヒーター故障	たれがない、新鮮でない	全数目視検査、開始時	除外	生産ラインチェックシート
⑩	凍結	製品保管庫(TF-0F)	-18℃以下	凍結遅延	PP	湿度	-18℃以下	随時	調整	工程管理記録/室温記録
⑪	金属検出機	金属検出機	1パック毎 全量検査	金属異物混入	CCP	検出機動作確認	F=2.1mm Dia.2.4mm	開始時、終了時テストピース確認	調査、廃棄	金属検出機
⑫	検査	ロット毎に検査	-	微生物	-	出荷基準	基準値内	ロット毎	出荷止め、調査	検査記録
⑬	冷凍保管	製品保管庫	冷凍保管	品質劣化	PP	湿度	-18℃以下	庫内温度確認	調整	室温記録
⑭	出荷	トラック	輸送基準に準拠し適正温度管理	品質劣化	PP	湿度	冷凍	自動温度記録	調査、工程除外	配達日報



■ 品質管理情報

商品検査の有無	○無 ●有→具体的に	食品衛生検査 一般生菌数・大腸菌群・腸炎ビブリオ
衛生管理への取組	生産・製造工程の管理	・工程管理記録(作業場、水、原料、半製品の温度管理)及び衛生管理日報(食品との接触面の状態、交差汚染防止などに関する事項)でのモニタリング記録。
	従業員の管理	・健康管理チェック表(体温、下痢、嘔吐、手指の怪我)での管理。
	施設設備の管理	・外部委託による月次、年次点検。 ・自社点検による管理。
危機管理体制	担当者連絡先	担当者名または 担当部署名 営業管理一部水産加工場 工場長谷口正尚 連絡先 0956-72-3434
	危機管理に関する対応や生産物賠償責任保険(PL保険)の加入など	・お申し出、製品回収対応マニュアル有り。PL保険加入。

このシートは農林水産省フード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)により、作成されました。詳しくは<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/fop/index.html>をご覧ください。